

テーマ：『 里地里山を活用した渋沢小学校の環境教育 』

秦野市立 渋沢小学校

Tel. 0463-88-7066

担当者 和田 晃江



■実践内容:

「学習林」や「ふれあいの里」を活動の拠点とし、年間計画に基づいて生活科や総合学習の中で、「親しむ」・「調べる」・「守る」活動を行った。保護者や地域の方々の協力を得て、植物や生き物とふれ合ったり、自然に親しむ活動や調べる活動、そして落ち葉かきやドングリを育てる活動など里地里山を生かした活動をたくさん行ったりすることができた。

夏にはホテルの観察会や、講師を招いての教員の研修会、また児童への環境学習会も行った。更に、里山での児童の活動の様子や里山の自然についてより理解してもらうために、「渋小里山だより」を発行して保護者や地域の方々にお知らせをしてきた。また、里山の様子を知らせる掲示板やコーナーも写真を多く取り入れて充実させることができた。

■実践成果:

保護者や地域の方の協力のもとで、里地里山における活動をたくさん行うことができた。低学年は、生き物とのふれあいを通して自然のすばらしさを知り、植物や生き物を大切にするようになった。中・高学年は、地域の方から里山での遊びや活用法を学ぶことができた。また、「かながわ子ども環境サミット」で本校の環境教育について発表する機会を得て、里地里山での活動を多くの方に知っていただき、保護者や地域の方の関心を高めることができた。

■実践ポイント:

- ・保護者や地域の方の協力を得ながら「ふれあいの里」や「学習林」という恵まれた環境を生かした活動をしていく。
- ・生き物とふれ合ったり自然と親しんだりする中で、子どもたちの豊かな心を育てていく。
- ・里山の魅力を広報活動などを通して、地域にも広める。